

山梨県スポーツ指導者協議会

会報

第十七号

平成19年
3月31日
発刊

山梨県スポーツ指導者協議会

会長 田草川 光 男

関東ブロック会議
開催に向けて

財団法人日本体育協会全国スポーツ指導者連絡会議、関東ブロック会議は日体協指導者養成専門委員会の下に設置され、公認指導者制度の発展と円滑な運営、指導者相互の連帯と、指導力の向上及びスポーツ指導活動の促進方策等について研究協議され、常に先端的な情報を発信する機会ともなりスポーツの振興に大きな役割を果たしている。

この平成十九年度関東ブロック会議が本県で開催（六月二十九日・三十日）される、ここでは財団法人日本体育協会から公認スポーツ指導者に対する必要な情報の提供、国や地域が取り組むスポーツ振興の今日的課題に対する公認スポーツ指導者の対応等についても協議されることとなります。財団法人日本体育協会と山梨県体育協会が主催し、本会が主管することになりましたこの会議の成功に向けて、本県有資格指導者（公認スポーツ指導者）の全面的なご協力を心からお願いたします。

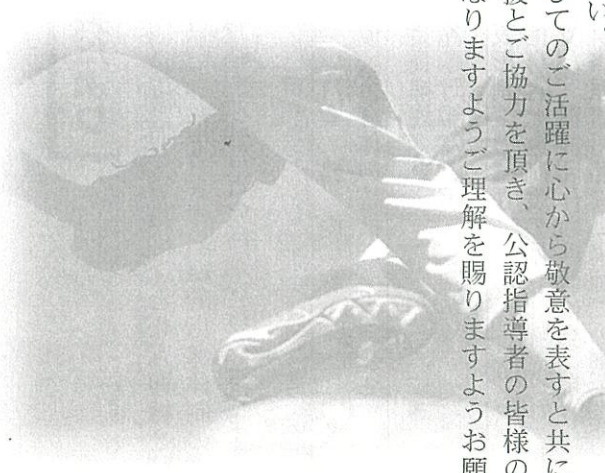
平素、お互いの忙しさもありまして総会及び研修会参加者、会報による情報の提供が主な関わりであります。この関東ブロック会議の開催がスポーツ界の抱える課題について会員とより共通の意識を持った協議会となる機会になれば、さらに公認スポーツ指導者としての役割をも果たすことが出来ると考えています。

たすことが出来ると考えています。

本会は十八年度に二年任期で役員が改選され、専門部会も活動促進（岡村勝幸部長、広報普及（篠原達夫部長）、組織財源（雨宮愛子部長）の三部会でスタート致しましたが、本会の抱える課題に地道な取り組みを行うと共に、県と県体育協会が進めるスポーツ振興諸事業に積極的な関わりを持ち、県民の多様なスポーツニーズに応えるための支援も共通の目標にしたいと考えております。

そのため会員の皆様には、地域や競技団体並びにレクリエーション等のスポーツ関係団体の指導者としての平素の関わりに加え、総合型地域スポーツクラブ設立等による多年齢・多項目スポーツの環境を新たに育てるためのご指導も積極的にお願したいと考えております。県体育協会は、県から委託を受けた広域スポーツセンター事業において、クラブマネージャーの育成講習会により指導者の育成を行っているが、この指導者と会員が連携して頂くことが必要だと考えております。また、やまなしスポーツ情報ネットワークシステムの構築とその運用も進められております。これは指導者が必要とする者又はグループが直接検索し、適任者をより捜しやすくするための目的もあるので、会員の皆様にはシステムに対するご協力をお願いしたい。

終わりに平素の公認指導者としてのご活躍に心から敬意を表すと共に関東ブロック会議に対するご支援とご協力を頂き、公認指導者の皆様の会費納入により充実した本会になりますようご理解を賜りますようお願い申し上げます。



平成十八年度関東ブロック会議の報告

副会長 松野 傳

平成十八年度第一回全国指導者連絡会議・関東ブロック会議は、六月三十日(金)・七月一日(土)に神奈川県葉山町で開催された。

開会式に次いで日体協職員より、「平成十八年度指導者育成関係事業計画」についての説明がなされた。その中では、①クレジット機能付登録証保有率八十八・八%。②現在国体監督に公認スポーツ指導者資格を義務付けているのは十五競技であるが、平成二十五年までには全ての競技を対象にする予定。③総合型地域スポーツクラブの必要性、等のこと強調されていた。

会議のテーマは「スポーツ指導者養成と活動の促進」、サブテーマは「総合型地域スポーツクラブと公認スポーツ指導者」であった。話し合いの中では、「有資格指導者の活用促進は重要であるが、体育・スポーツの現場で望んでいるのは、ニーズに合った指導者である」ということが大きな話題になった。そのために、①指導者が自らの資質を高め、認められるようになる。②指導者が積極的に現場に顔を出し、時にはアタックもする。③学校体育との連絡を図る。等の意見が多く出された。一方、課題として、①「個人情報保護法」が、指導者の活動促進に及ぼす影響の有無。②総合型地域スポーツクラブに、公認指導者の活用が義務付けられていない。③体指・スポ少・指導協の連携が必要であるが、それに及ぼす「指定管理者制度」の影響の有無。等の意見も出された。また、指導者の登録人員と会費を払う人数との差が大きいことも各県から出された。

最後に、これからのこの会の方針として、「関東ブロックの活性化を図り、各県の特性を生かす」ことを申し合わせて会議を終えた。閉会式の最後に山梨の田草川会長が、「来年の会場地山梨でも、有意義の会になるように」と、案内と協力依頼の挨拶をして終了した。

山梨県スポーツ指導者協議会だより

本協議会は、県内におけるスポーツ指導者の資質向上と相互連携を図り、県民スポーツの普及・発展を目的に、指導者の組織的指導体制の確立、各種研修会・講習会の開催、広報誌の発刊などの活動を行っています。

組織	役員	業務内容
会長	田草川光男	協議会全体の統括
副会長	松野 傳 若尾 重廣 向山 眞悟	会長補佐 各専門部の統括
活動促進部	部長 岡村 勝幸 部員 二十名	表彰制度の確立 指導者派遣制度の確立 支部、競技団体義務研修会 研修派遣指導者(講師)の選出 競技者育成プログラムの情報収集 支部、競技団体の指導者バンク
広報普及部	部長 篠原 達夫 部員 九名	会報計画立案、作成 ホームページの開設 協議会の広報に関すること
組織財源部	部長 雨宮 愛子 部員 九名	総合型地域スポーツクラブとの連携と対策 登録会費の徴収(県、支部、競技団体) 助成事業の確保 スポンサーの獲得

お願い

日本体育協会公認スポーツ指導者の皆様には、本協議会の会員になっていただいております。冒頭にも述べたとおり本協議会は、指導者の組織的指導体制の確立、各種研修会・講習会の開催などの活動を行っております。このような活動の中、会員の皆様には、スポーツ指導者の情報を掲載した会報の送付や更新義務研修会になる「スポーツ指導者研修会」の案内の送付など情報の提供をいたしております。

つきましては、是非、公認スポーツ指導者の皆様には、本協議会の趣旨、活動内容をご理解いただき、各研修会への参加並びに「会費の納入」につきましてご協力いただきますようお願いいたします。

平成十八年度東八代支部の活動

「会員の活動の場を模索しつつ」

東八代支部長 鶴田幸男

東八代支部は、町村合併により中道町、豊富村が甲府市、中央市へ移行し、東山梨支部から春日居町を迎え七町で組織し活動している。

会員数一五二名が登録し、主な活動は県スポーツ指導協の総会、研修会への参加、甲府支部、東山梨支部と合同で開催する支部研修会、理事会、総会等である。

特に、三支部合同で開催している研修会は東八代支部で担当し、平成十八年十一月十九日に御坂町で開催、スポーツ栄養について、山梨学院短期大学教授岡本裕子先生の講演、実技として、救急法、心肺蘇生法、AED等の指導を笛吹市消防本部の署員から伝達され支部内外から八十名の参加があった。平成十九年度は東山梨支部が

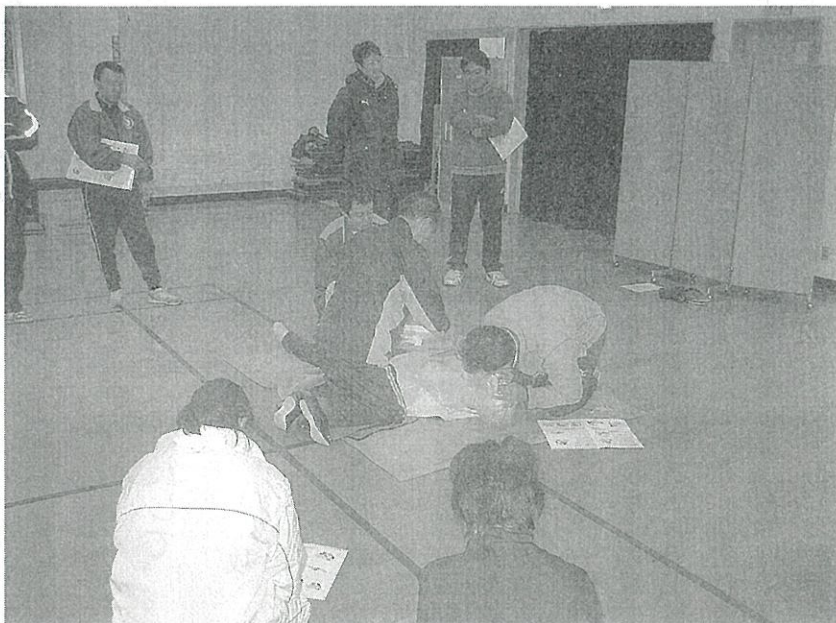


担当し開催することになっている。

支部総会の折、会員の親睦会、レクリエーション等交流会を開催してほしいとの声もあり今後の検討課題としている。

又、資格を取得しても活用が無いことも大きな問題で、一つの方策として、総合型地域スポーツクラブの設立、支援運営に指導的役割を發揮することも指導協として一考を要すると思われる。

支部組織の運営は課題山積である。



公認スポーツ指導者表彰を受賞して



公認スポーツ指導者表彰を受賞して

田草川 光 男

(サッカー・上級コーチ)

東京オリンピック（昭和三十九年開催）に向け日本サッカー協会は、ドイツから世界的なコーチであったクラマー氏を招聘し、大会においてアルゼンチンを破るといふ夢のような結果を残しベスト8に進出したこのサッカー協会の英断が契機となり、メキシコオリンピックの銅メダル、日本サッカーリーグの創設、コーチングスクールによる公認指導者の養成等々に新たな事業が展開された。

高等学校の指導者の仲間に入れて頂いたばかりで、一人前に指導に行き詰まりを感じていた時、日本サッカー協会が第一回コーチングスクールを昭和四十一年七月二十五日から八月二十四日の日程で開催することになり、ご理解のあった県サッカー協会の川手良萬会長と校長先生の許可が得られ、幸運にも全国の二十七名と研修することが出来た。このスクールの指導に当たられた指導者は、平木主任コーチはじめ、長沼、岡野、という日本代表の指導者で協会の力の入れ方は大変でした。

与えられたメニューは、午前、午後、夜とそれぞれに実技と学科がびつしりと組まれ、実技はすべてコーチとして高度なデモンストレーションが要求され、戦術、フィットネスは現役選手を思わせる程で、学科は心理、生理、医学、コーチング理論が容赦なく、疲れて眠くなる夜遅く迄詰め込む毎日が一ヶ月続きました。この日本サッカー協会がはじめて認定した公認コーチのライセンス取得には毎日「目から鱗」新しいサッカーに触れた強烈な思い出があります。以来四十年スポーツの世界に身を置かせて頂き、スポーツのことなら今でも熱く語れる仲間がいることが私の何よりの財産となっております。

このたび皆様のご推薦により公認スポーツ指導者表彰を頂きました、身に余る受賞であり心から感謝申し上げますとともに、ご指導頂いた先輩、同僚、協会関係者、そして真つ暗になるまでグラウンドで全国を目指し、思い出をいっばいくれた選手諸君にお礼を申し上げます。この受賞はさらなる精進を重ねるようにとの励ましと受けとめ、本県のスポーツ振興と会員の皆様のご協力を頂く中で指導者協議会の発展に微力ながら尽くせるよう努力したいと思います。



公認スポーツ指導者表彰を受賞して

五味 攻

(バスケットボール・指導員)

この度、思いがけず平成十八年度公認スポーツ指導者表彰を受賞させていただきました。バスケットボール指導員資格の私がこのような受賞を戴けたのは、今日までに導いて下さいました指導者協議会甲府支部の諸先輩方のご尽力の賜と心より感謝申し上げます。この受賞は私個人でなく指導者協議会甲府支部のものとして心しております。

私は長年指導してまいりました、単一スポーツの競技力アップ一辺倒の指導に疑問を感じ、平成十五年に小学生全学年を対象とした、スポーツをやりたいが出来ないでいる子、スポーツは苦手だが遊びたい子、集団での行動が苦手な子等を募り、選手育成型ではない、色々な競技を体験させ、遊び（スポーツ）の出来る子ども達を育成しようと甲府市立伊勢小学校地域にスポーツクラブを設立し、平成十七年五月には総合型地域スポーツクラブとして立ち上げた指導協甲府支部の一員として、学校と地域の活性化に役立てるようにと活動をさせていただいております。

今回の受賞をステップに指導協甲府支部の諸先輩方のご指導、ご鞭撻を仰ぎながら総合型地域スポーツクラブ『伊勢スポーツクラブ』をより発展させ山梨県のモデルケースの一つとなれるよう活動を推進し、自らも研修に努め、活動を通して子ども達から学び、自分の気力ある限り地域スポーツの振興に貢献し続けたいと思います。

終わりに、受賞に際しご尽力下さいました関係各位に深く感謝申し上げます。



学校教育を配慮したスポーツ組織を

宮澤 千秋

(陸上競技・上級コーチ)

昭和四十二年に旧ソ連邦の体育事情に触れ、その後、日体協等の関係から数度にわたる海外の研修に参加させていただいた。日本へ「社会体育」という用語が登場した当時は、聞き慣れない用語と定義に戸惑いさえ感じていた。実際に海外事情をこの目で見てみると、社会体育とは大きなギャップがあることを知った。

ヨーロッパのスポーツは歴史と風土の中で育まれ、日常の生活と旨く融合している。広大な集合体であり、立派な本拠地を持ち、医師やトレーナーが常駐している。指導は、幼少時は基礎歩行や基礎運動へ十分な時間をかける。そして、種目の異なった指導者間で子どもの特性を生かした種目を選択していくなど、早くから専門化していく日本のスポーツの指導形態と異なっている。

私が久しく待ち望んでいた総合型スポーツクラブの登場であるが、前途多難であろう。日本は学校教育中心の部活動が競技力向上の基盤になつており、ここがヨーロッパの形と大きく異なっている。今、学校現場にはゆとりすら無くなっている。また、最近、教育再生の狭間に立つ教職員に科せられた課題も複雑である。このような中で、教育を配慮したスポーツ活動が地域差もなく展開されるのだろうか。生涯教育の中で大切な途中のとぎれた世代をどのように社会で扱うのであろうか。総合型スポーツ組織が第二の「社会体育」にならないように見守りたい。



公認スポーツ指導者表彰を受賞して

標もと子

(バレーボール・指導員)

この度、平成十八年度公認スポーツ指導者全国研修会が、平成十八年十二月九日東京赤坂プリンスホテルで開催され、その席上表彰を受賞させて頂きましたことは身に余る光栄であり、本受賞に関して御尽力賜りました地域のスポーツ指導者協会の先生方を始め山梨県体育協会、又事務局の先生方には心から感謝申し上げます。

表彰式のと特別講演として、鈴木大地氏(順天堂大学助教授、日本オリンピック委員会アスリート委員会委員)の「ジュニア期における望ましいスポーツ環境」と題しての講演があり、出生率の低下という深刻な問題、子供の体力低下と、これからジュニア期のスポーツ活動における指導法も様変わりしつつあると感じながら、大変有意義な研修会でした。

私も家庭の主婦として只、漠然とバレーボールのプレーをする事だけ考えて来ましたが、スポーツ指導者育成制度が有ると聞き昭和六十二年資格を取得致しました。最近総合型地域スポーツ指導者と云う課題も問題になって参りましたが、ジュニアから高齢者迄を対象と考えた時、すべての人が参加できるスポーツ指導となると、地域のニーズに合わせ個々の体力を考え指導をと思います。

今回の受賞を機に、切磋琢磨し地域スポーツの振興に微力ながら貢献して参りたいと思います。最後になりましたが受賞に際し関係各位のご配意に感謝申し上げます。





平成十八年度スポーツ指導者全国研修会

—子どもとスポーツ—

保坂桂子

平成十八年度公認スポーツ指導者全国研修会が十二月九日、東京都の赤坂プリンスホテルに於いて四七六名の参加にて開催され、鈴木大地氏による「ジュニア期における望ましいスポーツ環境」と題した特別講演会が開かれた。

鈴木氏は、一九八四年にロサンゼルスオリンピックに出場。一九八六年のアジア大会では百メートル背泳、四百メートルメドレーリレーで金メダルを獲得。ソウルオリンピック百メートル背泳ぎで金メダルを獲得した一九八八年には日本スポーツ大賞など多くの賞を受賞した。現役引退後はコラド大学ボルダー校にて客員研究員、ハーバード大学水泳部のゲストコーチを務め積極的に海外に赴き見聞を広める。二〇〇〇年三月日本に戻り、順天堂大学助教授および同水泳部監督を務める傍ら日本オリンピック委員会アスリート委員会委員となる等、幅広い分野で活躍している。

鈴木氏によると、振り返ってみた時、金メダリストとしての今日の自分があるのは「おまえは将来オリンピックに行く」という指導者からの励ましの言葉があったから、とのことだ。

『年令別の指導から発育レベル別の指導へとかわり、多くの場合発育が早く運動能力の高い子が上手で強いといわれどんどん指導されるようになってしまった。逆に発育が遅い子は可能性があるにもかかわらずうらむにかけられ落ちていってしまう。実は一番大事なことは、小学生のうちには基礎を身につけなければいけない段階なのだということだ。いいフォームを教え、発育は遅いけれどセンスのある子をもっともつと見つけ出して、やる気を喚起させてどんどん育てていく指導者になって欲しい。また一貫性のある指導、またぎの時期を大切に、子どものプライドに配慮した指導に心がけ、臨機応変に色々な場面場面で指導方法を工夫して欲しい。「おまえはもう伸びないんだ」と言われやめていく子がいる。指導者の一言一言が非常に重いものであり、すごい影響力を持っている。指導者の皆さんは日本の子どもを支えている。自負自賞を持ちさらなる活躍をしていただきたい。』

鈴木大地氏の言葉に新鮮さを感じ、全国研修会に参加し心新たな気持ちになりました。



平成十八年度山梨県スポーツ指導者

研修会に参加して

滝川一夫

平成十八年五月二十八日、甲斐市敷島総合文化会館大ホールにて指導者研修会が開催された。講演一は「スポーツ栄養について」、山下真澄（県体協スポーツ医科学委員）による講演が行われた。スポーツ選手の食事・栄養管理、トレーニングと食生活など、スポーツにおける栄養の役割を分かりやすく説明していただいた。最近の問題点としては、①朝食の欠食、②食事が全体的に少ないこと、③好き嫌いが多いこと、④偏食であること、⑤試合後の栄養補給がおろそかであること、⑥アルコールの飲み過ぎなどあげられる。

講演二は「救急法」、講師に田村宏先生（日本赤十字社山梨県支部事業推進課長）を迎え、心肺蘇生法・AEDの実技講習を行った練習中や試合中に選手が突然倒れることや意識を失うこともある。そんな経験から指導者一人一人が真剣に取り組み、大きな声を張り上げ本番さながらの緊張感があった。

こうした実技講習会は、今後多くの指導者の方々が、受講されることを希望する。





平成十八年度山梨県スポーツ指導者

研修会に参加して

実技「救急法」の講習を受けて

志 村 真 弓

ちよつと前に一般のバスケットの試合の時プレイしていた家庭婦人の選手が急に具合が悪くなり、心停止状態になってしまいました。そこで救急車が来る前にたまたま居あわせた医療関係の人が心肺蘇生法と、AEDを用い除細動を行って命拾いした人がいるということを知りました。一刻を争うこの時に、この適切な処置はほんとうに見事だったと聞いております。

とつきの時に正しい手当ができるようになることが私達の役割ではないかと思えます。

一般市民の認識を高め、救命手当、応急手当を習得し、それを勇気をもって必要時に手当を実践できるかと思えます。

それにはこのような有意義な講習をくり返し行ってもらい、いざという時に行動に移せる状態を作っていくことだと強く思いました。

バスケットの練習で行った中学校の体育館にポスターがはってありました。

「知っていれば安心です、AEDの使用に関する救急法」これだと思えました。



平成十八年度

山梨県スポーツ指導者協議会理事会報告

〔第一回〕平成十八年四月十日（月）小瀬スポーツ公園武道館会議室

- ・平成十七年度山梨県スポーツ指導者協議会事業報告・決算について
- ・山梨県スポーツ指導者協議会役員の変更について
- ・平成十八年度山梨県スポーツ指導者協議会事業計画・予算について
- ・平成十八年度山梨県スポーツ指導者協議会総会・研修会について
- ・専門部分科会

〔第二回〕平成十八年六月十四日（水）小瀬スポーツ公園武道館会議室

- ・平成十八年度日体協公認スポーツ指導者等表彰推薦について
- ・平成十八年度山梨県スポーツ指導者協議会専門部会について
- ・平成十八年度全国スポーツ指導者連絡会議関東ブロック会議について
- ・平成十八年度山梨県スポーツ指導者研修会について
- ・スポーツ情報ネット指導者検索システムについて
- ・専門部分科会

〔第三回〕平成十八年十月十八日（水）小瀬スポーツ公園武道館会議室

- ・専門部分科会報告・全体協議事項について
- ・平成十八年度山梨県スポーツ指導者研修会について
- ・専門部分科会

〔第四回〕平成十九年二月二十六日（火）小瀬スポーツ公園武道館会議室

- ・山梨県スポーツ指導者協議会表彰規程（案）について
- ・会報第十七号編集計画について
- ・平成十八年度山梨県スポーツ指導者協議会事業報告・決算について
- ・平成十九年度山梨県スポーツ指導者協議会事業計画・予算について
- ・全国スポーツ指導者連絡会議・関東ブロック会議について
- ・専門部分科会

平成十八年度事業報告

期 日	会議の名称等	会 場 等
平成十八年 四月 十日(月)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第一回理事会	小瀬スポーツ公園武道館 会議室①
五月二十三日(火)	・平成十七年度 会計監査	小瀬スポーツ公園管理棟会議室
五月二十八日(日)	・平成十八年度山梨県スポーツ 指導者協議会総会・研修会	甲斐市敷島総合文化会館
六月 十四日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第二回理事会	小瀬スポーツ公園武道館 会議室①
六月 三十日(金) ～七月 一日(土)	・平成十八年度第一回全国スポーツ指 導者連絡会議・関東ブロック会議	神奈川県「湘南国際村セ ンター」
十月 十八日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第三回理事会	小瀬スポーツ公園武道館 会議室①
十二月 八日(金)	・平成十八年度第二回全国スポ ーツ指導者連絡会議	東京都「日本体育協会地 下3階講堂」
十二月 九日(土)	・平成十八年度公認スポーツ指 導者等表彰・全国研修会	東京都「赤坂プリンスホ テル」
平成十九年 二月二十六日(月)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第四回理事会	小瀬スポーツ公園武道館 会議室①
三月三十一日(土)	・会報第十七号発刊	

平成十九年度事業計画(案)

期 日	会議の名称等	会 場 等
平成十九年 四月 十一日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第一回理事会	小瀬スポーツ公園武道館 会議室①
五月 九日(水)	・平成十八年度 会計監査	小瀬スポーツ公園管理棟 会議室
五月二十六日(土)	・平成十八年度山梨県スポーツ 指導者協議会総会・研修会	小瀬スポーツ公園武道館
六月 十三日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第二回理事会	小瀬スポーツ公園武道館 会議室①
六月二十九日(金) ～三十日(土)	・平成十九年度第一回全国スポーツ指 導者連絡会議・関東ブロック会議	山梨県 石和温泉郷 「糸 柳」
十月 十七日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第三回理事会	小瀬スポーツ公園武道館 会議室①
十二月 七日(金)	・平成十九年度第二回全国スポ ーツ指導者連絡会議	東京都
十二月 八日(土)	・平成十九年度公認スポーツ指 導者等表彰・全国研修会	東京都
平成二十年 二月二十七日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第四回理事会	小瀬スポーツ公園武道館 会議室①
三月三十一日(月)	・会報第十八号発刊	